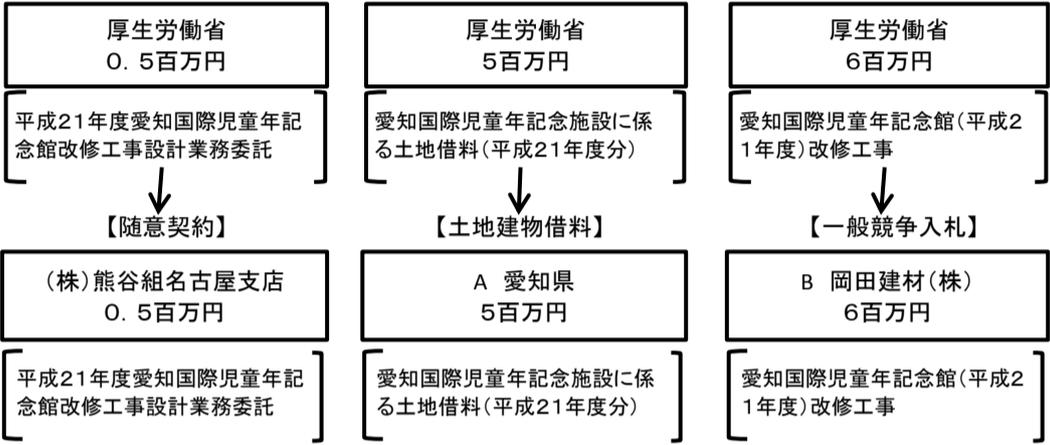
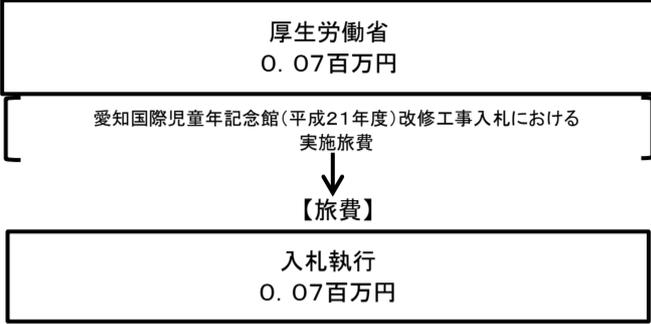


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	愛知国際児童年記念施設の運営等に必要経費	事業開始年度	平成6年度	作成責任者		
担当部局	雇用均等・児童家庭局	担当課室	育成環境課	真野 寛		
会計区分	年金特別手当児童手当及び子ども手当勘定	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童手当法第29条の2	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	昭和54年に愛知青少年公園内(現在は愛・地球博記念公園)での国際児童年記念行事「世界と日本のこども展」開催を記念し、次代の社会を担う児童の健全な育成と資質の向上、児童の創造性の開発、体力の増進等を図ることを目的として昭和56年に開館した「愛知国際児童年記念館」の運営・整備等を行うことを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	愛知国際児童年記念館の運営、整備 ○実施主体: 国(財団法人愛知公園協会に運営委託)					
実施状況	平成20年度実施状況 ・事業実績: 入館者数: 120, 500人(平成21年度については集計中)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	16	14	15	20	434
	執行額	16	12	12		
	執行率	100.0%	85.7%	80.0%		
	総事業費(執行ベース)	16	12	12		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	経費を支出している勘定所管課室において、連絡調整により定期的に内容・深度等の進捗状況を把握するとともに、施設整備の竣工後、入念な検収を行い、内容を適正に審査している。				
	見直しの余地	愛知国際児童年記念館は、開館以来29年が経過しており、施設内の建物が老朽化していることから、順次改修を行っていく必要がある。				
予算チームの監視・所見率化	本事業の目的は概ね達成されたと判断し、平成23年度をもって廃止予定。					
補記	※平成23年度においては、施設の解体等に必要予算を確保する必要がある。					



うち事務費 0.43百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.愛知県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
土地借料	愛知国際児童館に係る土地借料	5			
計		5	計		0
B.岡田建材(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	愛知国際児童館(平成21年度)改修工事	6			
計		6	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費					
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0